

文京区

BUNKYO GENDER EQUALITY CENTER

男女平等センターだより PARTNER

2019

No.

93



Topics

SDGs 〈持続可能な開発目標〉

Contents

- 【特集1】SDGs (持続可能な開発目標)
- 5 ジェンダー平等を実現しよう ————— 2,3,4,5
- 【特集2】第34回男女平等センターまつり ————— 6,7
- 区政を知る懇談会 ————— 8
- プラスワンセミナー Ⅲ 「女性と健康格差」 ————— 8
- 登録団体企画助成事業/裁判ウォッチング ————— 9
- 文京区ダイバーシティ推進担当から ————— 10,11
- 男女平等センター相談室/これからのセンター事業のご案内 — 12

2019年12月25日発行

発行/文京区女性団体連絡会 会長 岡田伴子
 〒113-0033 文京区本郷4丁目8番3号
 TEL.03-3814-6159 FAX.03-5689-4534

文京区男女平等センターは
 文京区女性団体連絡会(文女連)が
 指定管理者として管理・運営しています。

SDGs〈持続可能な開発目標〉 ジェンダー平等を実現しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs (持続可能な開発目標) とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標で、17の目標と169のターゲットで構成されています。

今回私たちは、17の目標のひとつである「5. ジェンダー平等を実現しよう」に焦点を当て、この項目のターゲット9つのうち、④⑤⑨についてパネル発表を行いました。

- ①女性・少女へのあらゆる形態の差別を撤廃
- ②人身取引・性的搾取など女性・少女への暴力の排除
- ③児童婚・若年結婚・強制結婚・女性器切除など、女性・少女への有害な慣習の撤廃
- ④無報酬の育児・介護・家事労働の認識・評価
- ⑤意思決定への女性の完全かつ効果的な参画・平等なリーダーシップ機会の確保
- ⑥性と生殖に関する権利への普遍的アクセス
- ⑦経済的資源に対する女性の平等や土地・その他の財産・金融・サービス
相続・天然資源への所有・管理アクセスを与えるための改革の実施
- ⑧女性のエンパワーメント推進のためのICTをはじめとする技術仕様強化
- ⑨あらゆるレベルでの女性・少女へのジェンダー
平等・エンパワーメント促進のための適正な政策、実効性のある法令の導入・強化

④アンペイドワーク*（無報酬の育児・介護・家事労働の認識・評価）

アンペイドワークが圧倒的に女性に偏り不平等であるとして、家事などを可視化してお金に換算することを国連第4回世界女性会議（1995年北京会議）で各国に要請しました。

*金銭的な見返りのない家事を含む育児や介護、地域活動など無償労働のことで、日常生活を送る上で欠かせない仕事。

女性の無償労働をお金に換算する

年間6.8兆円（税収を上回る額）
 ※平成30年(2018年)国家予算9.7.7兆円
 (一般歳出5.8.9兆円 税収5.9.1兆円)

専業主婦の家事・育児は304万円/年収

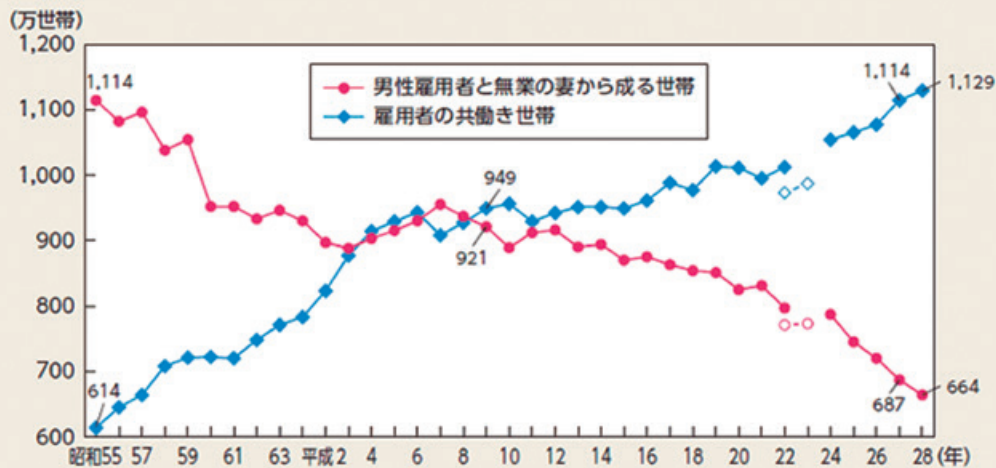
炊事	116万円	清掃	46万円
育児	43万円	買い物	40万円
洗濯	27万円	家事雑事	12万円
介護	8万円	縫物	9万円
社会活動	5万円		

(誤差は四捨五入のため)

無償労働貨幣評価額の活動種類別構成比

引用 平成25年(2013年)9月18日(日)
 東京新聞掲載【生活図鑑】
 無償労働(No.467)

平成23年(2011年OC法)
 はじめて示された政府統計



- (備考) 1. 昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」（各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月）、平成14年以降は総務省「労働力調査（詳細集計）」より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査（詳細集計）」とは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。
2. 「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者（非正規の職員・従業員を含む）の世帯。
4. 平成22年及び23年の値（白抜き表示）は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

共働き世帯が片働き世帯の2倍になっている現在、「男性は仕事・女性は家庭」という考え方は変える必要性に迫られています。



⑤意思決定の場に女性の参画 (意思決定への女性の完全かつ効果的な参画・ 平等なリーダーシップ機会の確保)

昨年度発表のジェンダーギャップ指数*でも、日本は149か国中「政治125位」「経済117位」という結果が出ています。2018年1月衆院選での女性議員比率はわずか10%。ILO（国際労働機関）2018年調査によると女性管理職の世界平均が30%近くであるにもかかわらず、日本の比率は12%にしか過ぎないという結果が出ています。

*ジェンダーギャップ指数：各国の社会進出における男女格差を示す指標。毎年世界経済フォーラムが公表しているもので、経済・政治・教育・健康的分野などから算出される。

文京区の女性町会長に聞いてみました

女性が政治に参画しにくい要因として、家族からの支援が受けにくい、根強い「代表は男性」という意識等が考えられ、身近な地域代表でも、文京区では154町会中女性町会長は6名で全体の3.8%となっています。

女性町会長になって新しく始めた事業

- 婦人部をやめて、環境厚生部とした。環境厚生部には男性の役員もいる。
- 毎月役員定例会を実施・町会行事については全戸配布・町会参加希望者の啓発・子ども対象の行事を実施。
- 町会規約改正。担当する係の仕事内容の線引き（女性部が引き受け過ぎていたため）緊急時に対応できる組織作り。
- 避難所運営訓練を毎年行う。

女性町会長の

【メリット】

- 女性町会員との距離がちぢまった。
- 町会内での困りごとに気付きやすい。
- 総会・理事会への出席率が上がった。
- 男性の優しいサポートが得られる。

【デメリット】

- 一部に男性の嫉妬。
- 神社祭禮などのしきたりが難しい。

町会には女性の視点が必須!!

最も重要なのは災害時における女性の視点です。着替え場所がない、女性関連の物資がない、またさまざまな暴力・人権侵害が生じる可能性もあるのです。

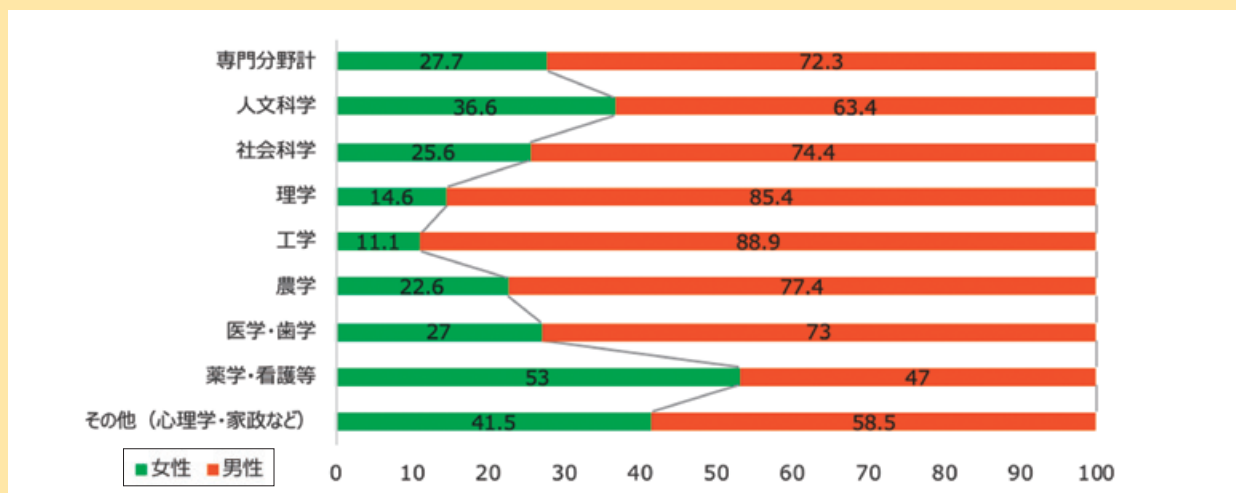
⑨教育現場に潜む女性差別

あらゆるレベルでの女性・少女へのジェンダー平等・エンパワーメント促進のための適正な政策、実効性のある法令の導入・強化

昨年、一部の大学医学部入試での女性差別が内部調査によって明らかにされましたが、本来平等であるべき教育現場でも多くの差別的意識が働いています。その結果、つぎのような事実が見られます。

- 教育段階が上がるほど女性教員の比率は下がり、意志決定の立場にある校長等は男性の比率が非常に高い。
- 教科書・副教材の編集・執筆者の男性比率が高く、その内容は男性目線で製作されている。
- 学生の選考分野での男女格差が大きい。

専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合



総務省「科学技術研究調査」(平成30年)より

アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)をなくすために！

「親の考えが継承されていく」

教育の格差をなくすために必要なことは何でしょうか。それは私たちの心の根底に潜むアンコンシャスバイアスをなくすことです。そのためにもっとも有効な取り組みは学校及び家庭での教育です。とりわけ家庭での教育と保護者の考え方は子どもに多大な影響を与え、時代が進んでいるにも関わらず、ともすれば親世代の考え方をそのまま受け継いで昔ながらの偏見をもった人間を再生しかねません。

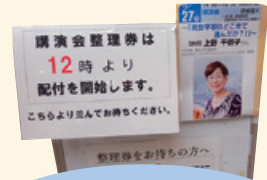
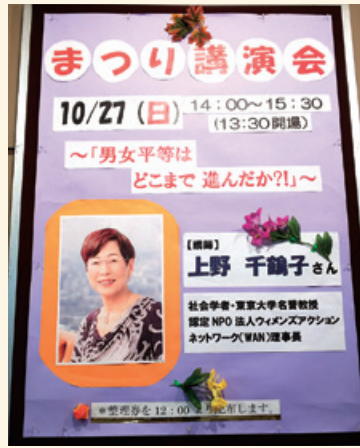
「男女格差の消滅へ」

親をはじめとした子どもを取り巻く周囲の大人たちは、自分たちの成長過程に周囲から受けてきたアンコンシャスバイアスを子どもに繰り返さないこと、それが時代を先に進めることになります。性別の枠に囚われずに成長し、進学し、就業する人が多くなることが、アンコンシャスバイアスの消滅、さまざまな男女格差の消滅へとつながります。

男女平等はどこまですすんだか **メイン展示です**



SDGs (エス・ディー・ジーズ) に取り組みました



上野千鶴子さんの講演会には、整理券配布に、早い時間から行列ができました。

講演会
「男女平等は
どこまで進んだか?!」
【講師】上野千鶴子さん



活動発表風景

第34回男女平等

きのう きょう あしたへ

年号が令和と改まって最初の男女平等センターまつりが、10月26日(土)・27日(日)に開催されました。あらゆる世代に來場していただきたく、初日はシネマとコンサート、2日目は上野千鶴子さんの講演会を企画しました。事前の問い合わせも多く、講演会では整理券を配布するほどの大盛況でした。



ワークショップ風景



掘り出し物を
喜んでいただきました

バザー会場



お点前

団体活動発表

A 研修室





第34回国際口笛大会
日本人初
女子の部総合優勝

口笛とウクレレ弾き吹きコンサート
【口笛奏者】分山 貴美子さん



シネマ「人生フルーツ」 © 東海テレビ放送



ピエロさんによる、バルーンアート！

センターまつり

～ 平等へ 時計の針を進めよう～

メイン展示では、SDGs (エス・ディー・ジーズ) 〈持続可能な開発目標〉17の目標のうち「5.ジェンダー平等を実現しよう」に注目してパネルに表しました。登録団体のパネルや舞台での活動紹介も活発に行われ好評を得たまつりの一部をご紹介します。



子どもたちは大喜びです

東京子ども専門学校さんの学生さんによる、手遊び



お茶の水女子大学の「森先生」による
理科実験ワークショップ



「ふらここ」さんによる読み聞かせです！

台唱やダンス・日舞など多彩な発表がありました。



区政を知る 懇談会

みんなが主役！ 楽しくめざす健康長寿 ～文の京フレイル予防プロジェクト～

- 日時：2019年8月1日(木) 午後1時30分～3時
- 講師：真下 聡さん（文京区高齢福祉課長）

今回は、文京区が現在取り組んでいるフレイル予防についてお話しいただきました。フレイルとは、健康な状態と要介護の間の状態のことをいいます。加齢とともに低下する心身の活力や筋力、認知機能、希薄になっていく社会との繋がりにいち早く気づくことによって、フレイルの進行を遅らせたり、健康な状態に戻すことが可能になるのだそうです。

文京区の人口は平成31年4月1日現在223,079人、そのうち65歳以上は43,008人で高齢化率は19.3%、これは国や東京都よりも低い数値とのことです。ですが、要支援1・2と要介護1の人口は増加傾向にあり、文京区では健康長寿のための取り組みとしてこのプロジェクトを始めたということです。

当日は「フレイル予防ハンドブック」にも掲載されているフレイルチェック（イレブンチェック）に参加者が取り組むことによって、日ごろの自分



たちの生活を振り返ることができました。
(担当：高橋・吉野)

【参加者からの感想】

- ◆ 熱気が感じられます。プリントがしっかりしているとと思いました。(60代女性)
- ◆ 昨年の夏行われた区政を知る懇談会に参加してかなり勉強になったので、今回も参加させてもらいました。今回は高齢者向けでしたが、自分の親たちにとって参考になる内容でした。かつ、自分の私生活を見直すよい機会にもなりました。(40代女性)
- ◆ フレイルについて改めて意識する機会となりました。フレイルチェックを受けてみたいと思いました。また、フレイルサポーターをしてみたいとも思いました。(70代女性)

プラスワンセミナーⅢ

女性と健康格差

- 日時：2019年9月12日(木) 午後1時30分～3時
- 講師：吉田 穂波さん（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科教授）



家事、育児、介護等は女性の役割とされてきたため、女性だけが受ける差別、健康格差が存在するといえます。今回は「性と生殖にかかわる健康と権利」について～語られてこなかった話を学びましょう～



と副題をつけて、お話しいただきました。プレコンセプションケア（男女共に、子どもを授かることのできる期間の健康の

こと）、妊娠・出産を含めたライフプランニングの効果的な支援、女性のライフステージの合わせた健康支援について話を進め、ご自身の6人目の出産を控えた今の思いも伝えていただきました。

海外での出産や子育て、災害地での経験、『受援力』の紹介も目から鱗でした。また、産婦人科医療に性差医療の視点と健康に特化した女性総合外来の話題も新鮮でした。

感想の中に「わかっているようでわかっていない問題であることを感じました。とても良い機会でした。また学校教育の重要性は特に大切だと思います」等がありました。

(担当：高橋・土田)

緑の会 「文京区ゆかりの童謡・抒情歌を歌おう」

●日時：2019年10月10日(木) 午後2時～3時30分

●講師：古澤 利人さん (バリトン歌手) 櫻庭 緑さん (ピアニスト)

～80名余りの皆様の素敵な瞳の輝き～

歴史ある文京区。この界隈には時代を越えて数多くの詩人や音楽家が住んでいました。普段私たちが何気なく口ずさんでいる歌にも文京区とゆかりのある歌がたくさんあります。「山田耕祐は本郷の生まれ。東大正門の辺り、生家は道路拡張のために今は本郷通りになっている」「小さい秋みつけたの歌詞の中に出てくるハゼの木は、作詞者サトウハチロー氏が住んでいた家の庭にあったが、今は礪川公園に移植されている」「ふるさと、春の小川、朧月夜、もみじ、等有名な曲をたくさん作曲した岡野貞一氏は、本郷中央教会のオルガニストだった。とても無口で敬虔なクリスチャン

である彼が亡くなって初めて信者は有名な作曲家だったのだと気づく」

そんなエピソードをお話ししながら、皆様と一緒にゆかりの歌を歌いました。こうして歌のできた背景などがわかると、ますますその歌に親しみが湧いて笑顔になり、会場全体が和やかになりました。

今回は秋の曲を取り上げましたが、春バージョンでの開講も視野に入れ、是非シリーズ化していきたい講座の一つになりました。



裁判ウォッチング



●日時：2019年11月13日(水) 午後12時～

毎年好評の「裁判ウォッチング」に、今年も多くの方が参加しました。裁判手続等の説明を受けた後、刑事事件と民事事件に分かれて傍聴しました。

民事は「少額訴訟」を傍聴しましたが、円卓(ラウンドテーブル)で、裁判官、原告、被告等全員が同じテーブルにつくことも通常の法廷と異なっていました。また、裁判官といえば黒い法服姿だと思っていましたが今回は皆背広姿の男性裁判官でした。少額訴訟は、60万円以下の金銭トラブルに限ったもので、それに見合った時間・費用・労力で効果的に解決するよう手続きを簡易にしています。審理は原則1回で双方の言い分、証拠を調べる等で終了、直ちに判決が言い渡されます。迅速な解決を図るとはいえ、その速さに驚きました。件数も大変多く、そのようなトラブルが頻繁に起こっていると感じました。「裁判」が身近に思える

良い機会にもなりました。

今回の参加者(刑事・民事)からも、「満足」、「有意義だった」という感想の他に、「また参加したい」、「回数を増やして欲しい」というご意見が多く寄せられています。

(担当：増田)

【参加者の感想】

- ◆ とても勉強になり、有意義な経験ができました。
- ◆ テレビドラマで観るより進みが速くびっくりしました。
- ◆ 思っていたより良い意味でシステマティックに進行すると思いました。被告の方が普通の方に見えて裁くことよりもどうすれば犯罪を防ぐことができるのかを悩みました。
- ◆ この国が法治国家である一面を見ました。
- ◆ その都度丁寧に説明して頂いたのでわかりやすかった。

文京オレンジデーキャンペーン

11月25日は、国連の定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」です。

UN Women（国連女性機関）は、「オレンジ色」を暴力のない明るい未来を象徴する色として、11月25日から12月10日（人権デー）までの16日間、街中をオレンジ色に染める呼び掛けを世界中で行いました。文京区もUN Women（国連女性機関）日本事務所と協力して暴力撤廃を呼び掛けました。

【文京区の啓発活動】

啓発品の配布や啓発パネル展を行いました。シビックセンター区民ひろばでは区内関係団体のメッセージ動画と、UN Women（国連女性機関）による啓発映像を放映しました。また、シビックセンターの三角屋根をオレンジ色にライトアップしました。



【犯罪被害者等相談会】

区内警察四署（富坂、本富士、大塚、駒込）の協力により、相談会と、警視庁マスコットキャラクターのピーポくんも参加した啓発キャンペーンを実施しました。

【中央大学理工学部】

構内での啓発品配布やポスター掲示等での周知・啓発、オレンジ色のイルミネーションのほか、春日通り沿いの掲示板をオレンジ色に染めるご協力をいただきました。



【拓殖大学】

レンガ造りの本部棟のライトアップや、構内と茗荷谷駅での啓発品配布にご協力いただきました。



【文京学院大学】

構内におけるキャンペーンポスターの掲示、啓発グッズの配布及び女性に対する暴力反対のメッセージのSNSへの投稿などを通じ、周知啓発活動にご協力をいただきました。



その他、文京区女性団体連絡会を始め、区内の大学・団体など大勢の皆様にご賛同をいただきました。ご協力ありがとうございました。

人権週間 人権啓発映画会「あん」

- 日時：2019年12月7日（土）午後1時～4時
- 会場：男女平等センター 研修室A
- 講師：金 貴粉さん（国立ハンセン病資料館学芸員）

人権週間行事として、映画『あん』の上映会を行いました。どら焼き屋の雇われ店長とその店の常連である少女が、ハンセン病元患者の老女、徳江（樹木希林）と出会い運命を大きく変えていくという物語で、大きな感動とともに、ハンセン病への心ない偏見について考えさせられる作品でした。上映前には、国立ハンセン病資料館主任学芸員の金さんにご講演いただき、国のハンセン病隔離政策の歴史や元患者の思いなどを伺いました。

12月3日から6日にかけては文京シビックセンター区民ひろばで「人権を考えてみるパネル展」を行い、国立ハンセン病資料館提供の多磨全生園写真パネルや、世界人権宣言の各条文をイラストで分かりやすく紹介したパネル等を掲示して、人権の大切さを訴えました。



SOGI (性的指向と性自認) に関する取組み

🌀 からだ・こころ・あたまをほぐすストレッチとLGBT…のおはなし

- 日時：2019年9月5日(木) 午後2時～4時 ●会場：男女平等センター 研修室A
- 講師：古町 奏さん (パーソナルトレーナー) 屋成 和昭さん (株式会社アウト・ジャパン)

パーソナルトレーナーでありトランスジェンダーの古町奏さんをお招きし、ストレッチで体と心をほぐしつつLGBTについてお話を聞いてみよう、という講座を行いました。

「姿勢と気持ちは連動している」ということで、背骨や肩を動かしていくストレッチを実践すると、呼吸が深まり姿勢が改善されていきました。後半は、LGBTについての基礎知識の説明と、先生のライフストーリーの紹介がありました。参加者からは「当事者の方の話が聴けて気持ちの理解ができた」「いろいろな人が自分らしく生きられる社会になればいいと思った」といった感想があげられ、会場全体があたたかい雰囲気になりました。



🌀 文京SOGIにじいる映画会 ～パレードへようこそ～

- 日時：2019年12月5日(木) 午後1時30分～5時、午後6時30分～8時40分
- 会場：文京シビックセンター小ホール
- 講師：若林 佑真さん (FTMタレント) 屋成 和昭さん (株式会社アウト・ジャパン)

SOGIへの理解を深める映画会として、映画『パレードへようこそ』の上映を行いました。1980年代のロンドンに集った同性愛者の団体が、ウェールズの炭鉱労働者を支援するために立ち上がり、偏見を乗り越え友情を深めていくという内容で、「楽しく、かつ考えさせられる映画だった」などと参加者から感動の声が寄せられました。

昼の部では上映後にトランスジェンダー当事者の若林佑真さんをお招きしてトークライブを行い、当事者のこれまでの経験や思いを直接伺うことで、より映画の理解を深めることができました。

※SOGIとは：Sexual OrientationとGender Identityの頭文字をとったもので、「性的指向」と「性自認」を意味しています。

今後のイベント

🌀 家庭でも職場でも使えるイライラをおさえるアンガーマネジメント

- 日時：2020年1月19日(日) 午前10時～12時 ●会場：男女平等センター 研修室A
 - 講師：高田 しのぶさん (オフィス悠々代表)
- ちょっとした怒りをコントロールできる方法をお伝えします。



🌀 うち本当に大丈夫？スマホと甘いワナから子どもを守るには

- 日時：2020年2月15日(土) 午後2時～4時 ●会場：男女平等センター 研修室B
 - 講師：金尻 カズナさん、岡 恵さん (特非ポルノ被害と性暴力を考える会)
- 子どものプライベートな写真がスマホで拡散されることを防ぐ方法等を学びます。



🌀 パパの家事力を上げる秘訣、教えます ～手早く簡単！楽しい「おとう飯(はん)」講座～

- 日時：2020年3月1日(日) 午前10時～12時 ●会場：男女平等センター 研修室A
 - 講師：石橋 尊久さん (内閣府おとう飯始めようキャンペーン おとう飯大使)
- よしもと芸人であり元料理人の講師が、手軽に作れる料理や家事シェアを紹介するトークショーです。



男女平等センター相談室

自分自身の生き方

交際相手やパートナーからの暴力
(カウンセリングのみ)

夫婦や親子などの家族関係

SOGI*や性(性被害)に関すること

*Sexual Orientation and Gender Identity
: 性的指向や性自認

職場や地域社会などでの
人間関係

自分自身の生き方や、家族・職場・地域での人間関係、パートナーなどからの暴力、SOGI(性自認、性的指向)や性(性被害)などの相談(カウンセリング)をお受けしています。

所在地: 文京区本郷4-8-3 電話: 03-3812-7149 (相談室専用)

開室時間: 月曜日 10時から16時まで (受付は15時まで)

水曜日 14時から20時まで (受付は19時まで)

金曜日 10時から20時まで (受付は19時まで)

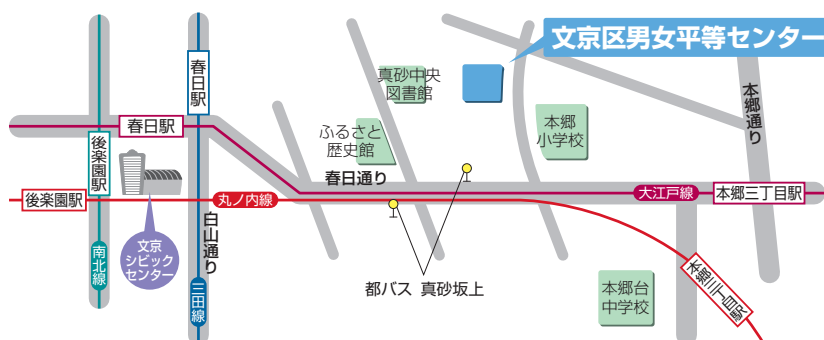
★祝日と年末年始(12/28~1/4)及び男女平等センター休館日の相談はありません。

★電話・面接相談ともに事前に電話でご予約願います。 ★相談は無料です。



これからのセンター事業のご案内

- ◆ 1月21日(火) 午後1時30分~
区政を知る懇談会 講師: 木口 正和さん (児童相談所準備担当課長)
- ◆ 1月28日(火) 午後1時30分~
プラスワンセミナーV 講師: 秦 好子さん (環境・防災コンサルタント)
- ◆ 2月28日(金) 午後6時30分~
プラスワンセミナーVI 講師: 浅倉 むつ子さん (早稲田大学名誉教授)
- ◆ 3月29日(日) 午前10時~
未来の科学者育成事業 講師: 森 義仁さん (お茶の水女子大学教授)



都営バス

真砂坂上下車 徒歩3分

三田線

春日駅下車 徒歩7分

大江戸線

本郷三丁目駅下車 徒歩5分

丸の内線

本郷三丁目駅下車 徒歩5分

南北線

後楽園駅下車 徒歩10分

お問い合わせ先

文京区男女平等センター 〒113-0033 文京区本郷4-8-3

TEL. 03-3814-6159/FAX. 03-5689-4534 <http://www.bunkyo-danjo.jp/>

編集後記

今号は男女平等センターまつりのメイン展示を抜粋して掲載いたしました。男女共に生きやすい社会にするために、私たち一人ひとりが自らの考え方を見つめ直す必要性を感じています。みなさま、忌憚ないご意見をお寄せください。

(広報部: 田中・新島・根尾・増田)